

# 3月11日

この日から全てが変わってしまった。恐れていた最悪のシナリオが進行している。錯綜する情報、出てこない事実……子どもを抱えた親の不安は計り知れない。私たち東京に住むものにも、福島と同じに放射能は降り注ぐ。自分たちのことでもある現実を、はっきりと知らなければならない。真実を、本当に信頼できる人に聞きたい。どうしたらよいのか、みんなで考えたい。こんな気持ちでこの3回連続講座を企画しました。この講座が、脱原発への一歩を踏み出すきっかけになってくれれば、と願っています。

## 講師プロフィール

### 田中優

1957年東京都生まれ。地域での脱原発やリサイクルの運動を出発点に、環境、経済、平和などの、さまざまなNGO活動に関わる。現在「未来バンク事業組合」理事長、「日本国際ボランティアセンター」「足温ネット」理事、櫻井和寿さん、小林武史さん、坂本龍一さんが立ち上げた「ap bank」監事、「一般社団法人 天然住宅」共同代表を務める。立教大学大学院、和光大学大学院の非常勤講師。著書(共著含む)に『地宝論』(子どもの未来社)『原発に頼らない社会へ』(武田ランダムハウス)『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』(河出書房新社)『環境教育善意の落とし穴』(大月書店)『おカネが変われば世界が変わる』(コモンズ)『今すぐ考えよう地球温暖化! 1~3』(岩崎書店、子ども向け)『世界から貧しさをなくす30の方法』『おカネで世界を変える30の方法』『天然住宅から社会を変える30の方法』(合同出版)『地球温暖化/人類滅亡のシナリオは回避できるか』(扶桑社新書)『戦争って、環境問題と関係ないと思ってた』(岩波書店)『非戦』(幻冬社)ほか多数

### 鎌仲ひとみ

映像作家。早稲田大学卒業と同時にドキュメンタリー制作の現場へ。90年最初の作品「スエチャおじさん」を監督、同年文化庁の助成を受けてカナダ国立映画制作所へ。93年からNYのペーパータイガーに参加してメディア・アクティビスト活動。95年帰国以来、フリーの映像作家としてテレビ、映画の監督をつとめる。主にNHKで「エンデの遺言—根源からお金を問う」など番組を多数監督。2003年ドキュメンタリー映画「ヒバクシャ 世界の終わりに」を監督。国内外で受賞、全国400ヶ所で上映。2006年「六ヶ所村ラプソディー」は国内外650ヶ所で上映。2010年「ミツバチの羽音と地球の回転」を完成。全国で上映中。国際基督教大学、多摩美などで非常勤講師もつとめる。著作「ドキュメンタリーの力」「内部被曝の脅威—原爆から劣化ウラン弾まで」「ヒバクシャ:ドキュメンタリー映画の現場から」「六ヶ所村ラプソディー ドキュメンタリー現在進行形」など。

## 会場地図

中野区勤労福祉会館(中野駅南口徒歩5分)  
中野区中野2-13-14



主催 「原発のない未来を!!なかのアクション」連続講座実行委員会

私たちも「脱原発」です。

(協賛団体)

エコマルシェ

NPO法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP)

NPO法人 中野・環境市民の会

コミュニティー・スペース委員会(CoCo)

中野・コンポスト連絡会/中野区消費者団体連絡会

中野区・生活クラブ運動グループ地域協議会

中野・生活者ネットワーク/なのはなこどもプロジェクト

東北支援・なかの/間・KOSUMI/みんなの牛乳